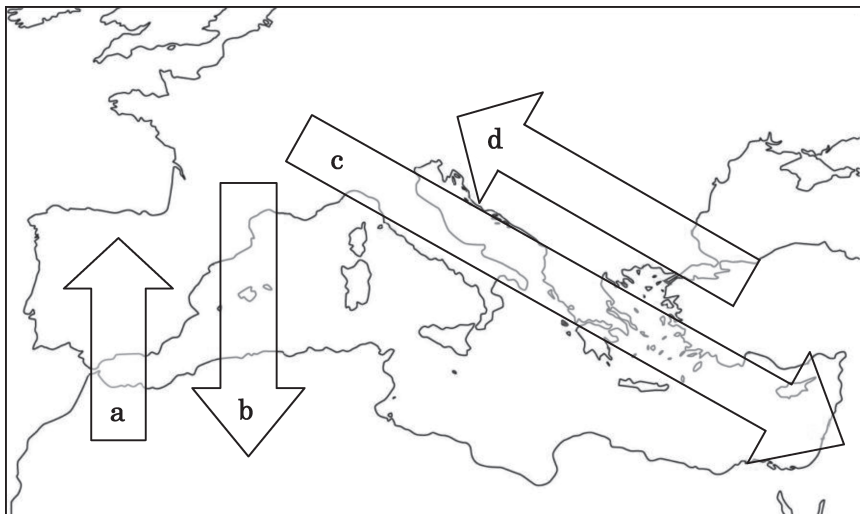


世界史 B

(解答番号 ～)

第1問 現在の世界の諸地域は、長年にわたる地域間の接触と交流の中で形成されてきた。世界史における接触と交流について述べた次の文章A～Cを読み、下の問い(問1～8)に答えよ。(配点 24)

A 次の地図は、地中海とその周辺地域を表している。この地図中の矢印は、歴史上生じた大規模な人の移動の始点と終点並びに移動の方向を、大まかに描いたものである。矢印aと矢印bは、ヨーロッパと北アフリカとの間の南北方向の移動を、また、矢印cと矢印dは、ヨーロッパと西アジアとの間の東西方向の移動を、それぞれ指している。



問 1 矢印 a または矢印 b が示す人の移動について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 1

- ① 矢印 a は、ノルマン人によるシチリア王国の建国を表している。
- ② 矢印 a は、ウマイヤ朝による西ゴート王国の征服を表している。
- ③ 矢印 b は、ムッソリーニによるエチオピア侵攻を表している。
- ④ 矢印 b は、ド＝ゴールによるアルジェリアの植民地化を表している。

問 2 矢印 c または矢印 d が示す人の移動の事例あ～えと、それについて説明した文 X・Y との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

2

事 例

- あ 矢印 c — 第 1 回十字軍
- い 矢印 c — 東方植民
- う 矢印 d — フン人の西進
- え 矢印 d — ウィーン包囲

説 明

- X エルベ川以東で、ドイツ騎士団が中心となって行った。
- Y オスマン帝国のスレイマン 1 世が行った。

- ① あ — X
- ② い — Y
- ③ う — X
- ④ え — Y

世界史B

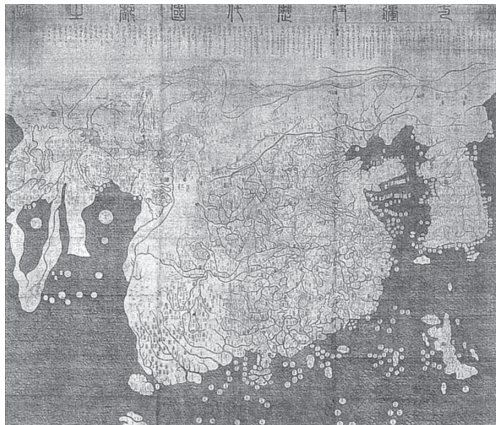
問 3 上の地図で表された地域において接触した可能性がある勢力の組合せとして誤っているものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

3

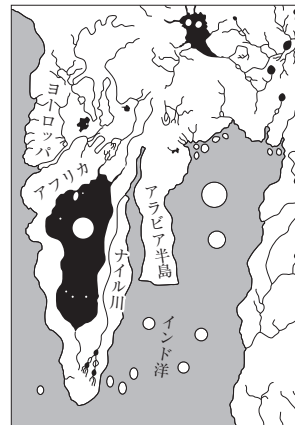
- ① 共和政ローマとカルタゴ
- ② メロヴィング朝とマムルーク朝
- ③ ビザンツ帝国(東ローマ帝国)とヴァンダル王国
- ④ スペイン王国とナスル朝

B 地図1は、朝鮮で作製された『混一疆理歴代国都之図』である。14世紀に中国で作られた2種類の地図を基に、朝鮮半島と日本列島の地図を合わせて、1402年に作製されたと伝えられている。地図1の左端には、参考図に示したように、不正確とはいえ、アラビア半島とアフリカ、それにヨーロッパが描かれている。アフリカの中に描かれている巨大な湖のようなものは、①当時サハラ貿易で栄えていたトンブクトゥのある、ニジェール川流域を描いたものとする説もある。地図1の基となった地図が作られた時代には、アことが知られているように東西交通が活発であり、これらは、そのような交流を通じてもたらされた知識の反映と考えられている。地図2は、地図1から200年後に中国で作製された『坤輿万国全図』である。地図1と比べると、描かれた大陸が実際の形に近づいただけでなく、地図1には描かれなかった大陸が増えていて、その間にイことなどを通して、地理的知識が拡大したことが読み取れる。

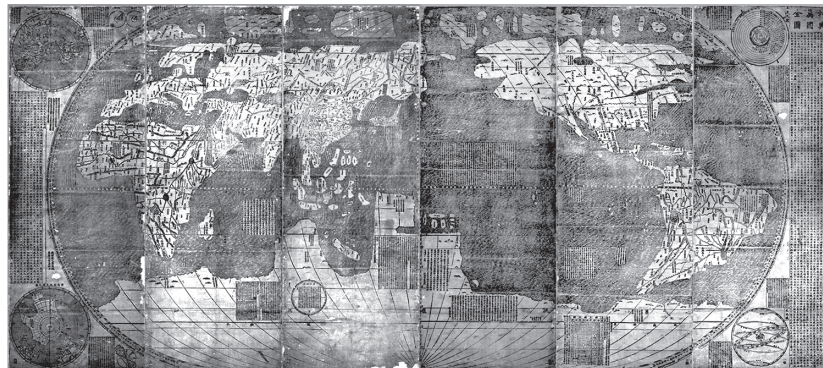
地図1



地図1 参考図(部分)



地図2



(この地図は、海岸線が明確になるよう、元の地図に加工を施している。)

世界史B

問 4 下線部①について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 4

- ① 生糸と銀の貿易で栄えた。
- ② 金と塩(岩塩)の貿易が行われた。
- ③ 毛皮と薬用人参が主な貿易品だった。
- ④ 香辛料を求めて、ヨーロッパ人が進出した。

問 5 文章中の空欄 ア と イ に入れる文 a～f の組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 5

- a ヴァスコ＝ダ＝ガマが、ヨーロッパからのインド航路を開拓した
- b 大秦王安敦の使者とされる者が、東南アジアに到来した
- c アムンゼンが、南極点に到達した
- d イブン＝バットゥータが、アフリカやユーラシアを旅行した
- e クックが、太平洋を探検した
- f マゼランの艦隊が、世界周航を行った

- ① アー a イー b
- ② アー a イー e
- ③ アー c イー b
- ④ アー c イー f
- ⑤ アー d イー e
- ⑥ アー d イー f

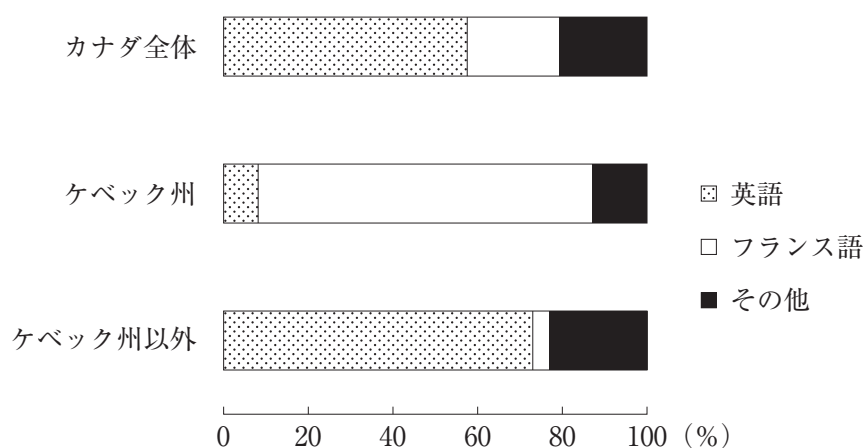
問 6 地図 1 の作製時期と、朝鮮半島の歴史について述べた次の文 a ～ c とが、年代の古いものから順に正しく配列されているものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 6

- a 甲午農民戦争が起こった。
- b 樂浪郡が置かれた。
- c 豊臣秀吉が送った軍勢の侵攻を受けた。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ① 地図 1 → a → b → c | ② a → 地図 1 → b → c |
| ③ b → 地図 1 → c → a | ④ a → b → 地図 1 → c |
| ⑤ b → c → 地図 1 → a | ⑥ b → c → a → 地図 1 |

世界史B

C 海外旅行の候補地としてカナダに興味を持った林さんは、カナダでは1969年に制定された公用語法によって、英語とフランス語を公用語とする二言語政策を採っていることを知った。この政策は、ヨーロッパ人による入植以降の北アメリカ大陸の歴史を反映したものであり、近年では外国からの移民の増加に伴って、英語・フランス語以外の言語を第一言語とする人々が増加の傾向にあるという。そこで、林さんは下調べのために図書館へ行き、カナダの言語事情に関する次の資料を見つけて、メモ作りを始めた。



2011年国勢調査で申告された第一言語(母語)の比率

問 7 林さんは、2011 年国勢調査における第一言語の比率について、その歴史的な要因を考えて、次のメモ 1 を作った。メモ 1 中の空欄 と に入れる文 a ～ d の組合せとして正しいものを、下の ①～⑧のうちから一つ選べ。

メモ 1

- カナダ全体で、第一言語の比率が資料のようになっているのは、
 ことが要因だと考えられる。
- ケベック州で、第一言語の比率が資料のようになっているのは、
 ことが要因だと考えられる。

歴史的な要因

- a 史上初の黒人共和国になるまで、フランスの植民地であった
- b イギリス連邦の成立まで、イギリスに従属する植民地であった
- c ブルボン朝の時代に、フランスの植民地が建設された
- d プラッシーの戦いの結果、イギリスによる支配の基礎が築かれた

- ① ウー a エー b
- ② ウー a エー c
- ③ ウー b エー c
- ④ ウー b エー d
- ⑤ ウー c エー d
- ⑥ ウー c エー a
- ⑦ ウー d エー a
- ⑧ ウー d エー b

世界史B

問 8 林さんは、上の国勢調査でその他の言語を第一言語として申告した人々には、アジア系の移民が多く含まれていることを知った。アジアから北アメリカ大陸への移民に関する次のメモ2中の空欄 と に入れる語句の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

メモ2

アジアからアメリカ合衆国への初期の移民の多くは中国人であり、1860年代の西部での のための労働力需要を支えた。中国人に続いて、日本人の移民も増加した。しかし、新たな移民に対する反感が強まり、1920年代には、人種偏見を背景として、 移民法が制定された。

- | | |
|---------------|------------------|
| ① オー大陸横断鉄道の建設 | カーアジア系の移民を禁止する |
| ② オー大陸横断鉄道の建設 | カー特定の居住地に強制移住させる |
| ③ オーパナマ運河の開削 | カーアジア系の移民を禁止する |
| ④ オーパナマ運河の開削 | カー特定の居住地に強制移住させる |

(下書き用紙)

世界史Bの試験問題は次に続く。

世界史B

第2問 世界史上の政治思想について述べた次の文章A～Cを読み、下の問い(問1～8)に答えよ。(配点 23)

A ギリシア人ポリュビオスは、著書『歴史』の中で、ローマ共和政の国制(政治体制)を優れたものと評価している。彼によれば、その国制には、コンスルという王制的要素、元老院という **ア** 制的要素、民衆という民主制的要素が存在しており、これら三者が互いに協調や牽制^{けんせい}をしあって均衡しているというのである。ローマ人はこの政治体制を誇りとしており、それは、彼らが自らの国家を指して呼んだ「ローマの元老院と民衆」という名称からも読み取ることができる。共和政期末の内戦を勝ち抜いたかに見えた **イ** でさえも、この体制を壊そうとしているという疑いをかけられ、暗殺されてしまった。

こうしたローマ国制についての理解は、以後のローマ人著作家を經由して、近世以降のヨーロッパ知識人層にも受け継がれていった。その影響は、モンテスキューらが唱え、アメリカ合衆国憲法をはじめとする近代憲法にも定められている **ウ** という考え方にも見ることができる。

ポリュビオスはまた、ギリシアのポリスの国制についても詳しく述べている。ただし、アテネについては「幾度か繁栄のときを迎え、とくにテミストクレスの活躍と時を同じくして最高度の輝きを放ったけれども、その浮^{うわ}ついた国民性のゆえにたちまち逆境の淵^{ふち}に突き落とされた」と述べ、例外的な存在と位置づけている。

問1 文章中の空欄 **ア** と **イ** に入れる語の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **9**

- ① **ア** — 貴族 **イ** — カエサル
- ② **ア** — 貴族 **イ** — オクタウィアヌス
- ③ **ア** — 僭主 **イ** — カエサル
- ④ **ア** — 僭主 **イ** — オクタウィアヌス

問 2 文章中の空欄 ウ に入れる語句として最も適当なものを、
次の①～④のうちから一つ選べ。 10

- ① 最大多数の最大幸福
- ② 君主の権力は神によって授けられた
- ③ 立法・司法・行政をそれぞれ異なる機関に委ね、権力の均衡を図る
- ④ 王は君臨すれども統治せず

問 3 ポリュビオスが言う「最高度の輝きを放った」時期のアテネについて説明して
いる文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 11

- ① 国を二分した内戦の中で、奴隷解放宣言が出された。
- ② 市民を債務奴隷にすることが禁じられるとともに、財産政治が導入された。
- ③ 戦車と鉄製の武器を用いて、オリエントを統一した。
- ④ 軍船の漕ぎ手として活躍した下層市民が、政治的発言力を強めた。

世界史B

B 次の文章は、ある日本人の回想録の一節である。(引用文は原文を一部省略したり、改めたりしたところがある。)

当時、清国皇帝は、康有為の意見をいれて鋭意国政の改革をはかり、要路^(注1)の旧守派^(注2)はこれに反抗の色を示し、北京の政界ようやく不穩の形勢を現じ来たれる時なりしかば、余は先ず香港に至り、ひそかに興中会および三合会^{さんごうかい}中の人に^{まじわ}交りを結んでその形勢を視察し、またフィリピンの志士と交結するの機会を得たり。はじめてポンセ君^(注3)と相い^{まみゆ}見るや、彼、テーブルを拍^{たた}いていわく、「君知らずや、さきに **a** の **b** ^{きん}と釁を生ずるや^(注4)、我らをして内応せしめて、事^{たいら}平ぐに至らば自主独立を許すを誓う。我らはその言を信じて、命を賭^として戦えり、自主独立を^{こいねが}希^{ゆえ}うが故なり。しかして **c** は敗走せり、皆おもえらく、自主独立の民たるを得ん、と。いづくんぞ知らん、**d** のために①隷属を強いられんとは。自由のために **e** と戦いし我らは、今また自由のために **f** と戦わざるべからざるなり」と。(宮崎滔天『三十三年之夢』)

(注1) 要路——重要な地位

(注2) 旧守派——守旧派に同じ。保守派

(注3) ポンセ君——文中に見える「フィリピンの志士」の一人

(注4) 釁を生ずる——戦争を始める

問 4 文章中の空欄 **a** ～ **f** は、二つの国名によって埋めることができる。その国名の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

12

① ロシア 日本

② スペイン 清国

③ 日本 清国

④ アメリカ合衆国 スペイン

問 5 下線部①の「隷属を強いられんとは」という言葉によって、「ポンセ君」が言い表そうとした事態として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

13

- ① 植民地として統治される。
- ② 不平等条約によって、関税自主権などを失う。
- ③ アパルトヘイトによって差別される。
- ④ 大国の委任統治領とされる。

問 6 上の文章から判断して、この回想録の著者である「余」はどのような活動に従事していたと考えられるか。考えられる活動として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

14

- ① 文章中の「清国皇帝」に協力して、同国の政治改革を阻もうとする活動
- ② 中国や他のアジア諸地域における民族主義を支援する活動
- ③ コミンテルンの指導の下に、社会主義者を組織する活動
- ④ 文章中の「旧守派」と連携して、共和国の樹立を目指す活動

世界史B

C 日本に留学しているスラメットさんが、友人の香織さんに、次の図を見せながら、母国のインドネシアについて説明している。



スラメット：この図は、1950年に制定された「パンチャシラ＝ガルード」と呼ばれるインドネシア共和国の国章です。

香 織：ガルードは、ヴィシュヌ神の乗り物とされる神鳥ですね。ガルードが両足でつかんでいるリボンには、何が書かれているのですか。

スラメット：「多様性の中の統一」という意味で、インドネシアを象徴する言葉です。

香 織：なぜ、国章にそのような言葉が使われているのですか。

スラメット：② 現在のインドネシアは、多くの島々から構成されており、たどってきた歴史も多様です。20世紀になると、植民地支配からの独立運動が展開され、インドネシアとしての統合のため「多様性の中の統一」が共通のスローガンとして用いられるようになりました。

香 織：ガルードが身に付けている盾は何を意味しているのですか。

スラメット：パンチャシラという、インドネシアの建国五原則を図案化したものです。例えば、真ん中の星は唯一神への信仰を表しています。これは、イスラーム教を国教としているということではなく、キリスト教やヒンドゥー教、仏教も容認されており、国民それぞれが自分の宗教を持つことを勧めているのです。その他には、インドネシア民族主義、国際主義・人道主義、全員一致の原則、社会の福利があり、現在の憲法前文にも引き継がれています。

問 7 下線部②について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 15

- ① 交易で海港都市が栄え、スワヒリ語が生まれた。
- ② 大乘仏教の寺院であるボロブドゥールが建設された。
- ③ ドンズー(東遊)運動が提唱され、日本への留学が奨励された。
- ④ ソ連のミサイル基地が建設され、アメリカ合衆国との間で緊張が高まった。

問 8 会話文にあるパンチャシラ(建国五原則)の内容と国章の図柄とを参考に、インドネシアの建国の指導者の名 a・b と、その人物が目指したと考えられる事柄について述べた文あ・いとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 16

インドネシアの建国の指導者の名

a スカルノ

b ナセル

インドネシアの建国の指導者が目指したと考えられる事柄

あ 地域や宗教の違いを超えて、国民全体の統合を目指した。

い 国民の政治的な権利を抑圧しながら、国家主導の経済開発を目指した。

- ① a — あ
- ② a — い
- ③ b — あ
- ④ b — い

世界史B

第3問 現在，世界各地の博物館や美術館には，かつて世界を結び付けてきた交易品や貨幣が収蔵されている。世界史上のモノについて述べた次の文章A・Bを読み，下の問い(問1～6)に答えよ。(配点 18)

A 次の図1・2は，イスタンブルのトプカプ宮殿に収蔵されている中国製磁器である。

図1



図2



問1 図1の碗^{わん}は，マラッカ(ムラカ)の総督であったPero de Fariaという人物が注文して，1541年に中国で作らせたものである。その名と製作年が，碗の縁に沿って記されている。この碗の来歴はどのようなものと推測できるか。考えられることとして最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

17

- ① この碗が作られた当時，マラッカを統治していたオスマン帝国の総督が，碗をイスタンブルのスルタンに献上したのだろう。
- ② この碗が作られた当時，碗は注文主の手によって，インド洋を横断し，スエズ運河を経由してイスタンブルにもたらされたのだろう。
- ③ この碗が作られた当時，カントン(広州)貿易はイギリスが支配していたので，碗を運んだのは東インド会社の船だったのだろう。
- ④ この碗が作られた当時，マラッカは東洋貿易の拠点であったので，碗は中国からまずマラッカに運ばれたのだろう。

問 2 図 1 の碗が作られた世紀には、中国で社会・経済にわたる変化が起こった。

その変化について述べた文ア・イと、その変化について説明した文 a～d との組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 18

中国で起こった変化

ア 海上貿易が活発化し、海禁政策が崩れた。

イ 銀の流通が拡大した。

その変化についての説明

a これを一因として、新法と呼ばれる制度改革が実現した。

b 日本やアメリカ大陸からの流入の増大が、その一因であった。

c これによって、公行を通した貿易の管理が廃止された。

d これによって、日本との間で勘合貿易が始まった。

① アー a

② アー c

③ アー d

④ イー a

⑤ イー b

⑥ イー c

問 3 図 2 の器のように、顧客の注文によって中国で製作された磁器は、18 世紀のヨーロッパにも輸入された。こうした磁器の輸入は、ヨーロッパにおいて、新しい飲食習慣が拡大したとと並行していた。このことについて述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 19

① 茶を飲む習慣が広まった。

② 輸入された砂糖の消費が拡大した。

③ 穀物からパンが作られるようになった。

④ コーヒーハウスが流行した。

世界史B

B 次の貨幣X～Zは、ロンドンの大英博物館に収蔵されている、南アジアの金貨である。なお、貨幣の写真は左が表側、右が裏側である。

貨幣X



裏側に描かれているのはインドの女神である。この貨幣を発行した王朝では、サンスクリット文学が栄え、それまで伝承されてきた法典や叙事詩が、現在に伝わるような形へと集大成された。仏教も盛んで、ナーランダー僧院などを通じて、① 中国との交流も行われた。

貨幣Y



表側にはこの貨幣を発行した王朝の君主が描かれ、裏側にはブッダを意味する語がギリシア文字で刻まれている。この王朝の西に位置したパルティアも、初期には貨幣の銘文にギリシア文字を採用していた。だが、これらの地域ではギリシア文化の影響は次第に小さくなり、パルティアを滅ぼした国家では、

ア

など、イラン地方の伝統に回帰した。

貨幣Z



貨幣の表側にはアラビア文字が刻まれており、「アッラーの他に神はなく、ムハンマドは神の使徒である」と記されている。貨幣Zを発行した君主は、この銘文が表している宗教を信仰しながらも、人頭税(ジズヤ)を免除するなどしてインドの住民の信仰との融和を図り、北インドをほぼ支配下に収めることに成功した。

問 4 下線部①について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 20

- a 鳩摩羅什が、中国から西域へ旅し、仏教を広めた。
- b 法顕が、中国からインドへ旅し、『仏国記』を著した。

- ① a — 正 b — 正
- ② a — 正 b — 誤
- ③ a — 誤 b — 正
- ④ a — 誤 b — 誤

世界史B

問 5 文章中の空欄

ア

 に入れる語句として正しいものを、次の

①～④のうちから一つ選べ。

21

- ① ゾロアスター教を国教とする
- ② ゴシック様式の建築が広まる
- ③ キープ(結縄)を用いる
- ④ 神聖文字を用いる

問 6 貨幣X～Zが、発行年代の古いものから順に正しく配列されているものを、

次の①～⑥のうちから一つ選べ。

22

- | | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| ① $X \rightarrow Y \rightarrow Z$ | ② $X \rightarrow Z \rightarrow Y$ | ③ $Y \rightarrow X \rightarrow Z$ |
| ④ $Y \rightarrow Z \rightarrow X$ | ⑤ $Z \rightarrow X \rightarrow Y$ | ⑥ $Z \rightarrow Y \rightarrow X$ |

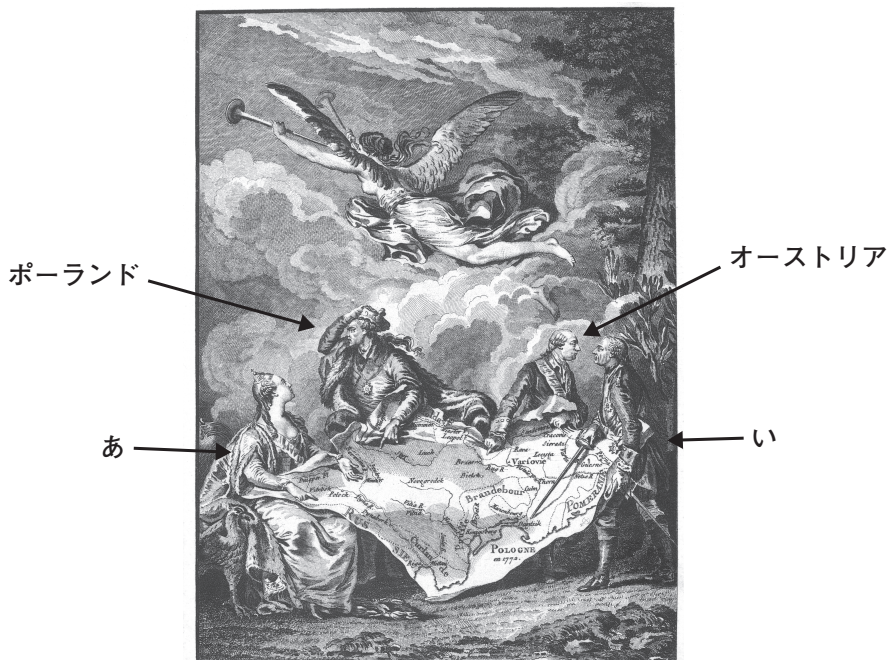
(下書き用紙)

世界史Bの試験問題は次に続く。

世界史B

第4問 世界史上の国家間の関係について述べた次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～5)に答えよ。(配点 17)

A 次の絵は、「王のケーキ」という題が付いている風刺画で、ポーランドの王と、ポーランドを分割する3国の君主たちが描かれている。君主たちの上方に描かれているのは、噂^{うわさ}や名声を象徴する天使ペーデーで、ラッパでこの知らせを広めている。ポーランドは、この後、数回にわたって分割され、19世紀には独自の国家を持つことはなかった。①20世紀になって独立を回復したが、大国の狭間^{はざま}にあって、たびたび難しい舵^{かじ}取りを迫られた。



問1 下線部①に関連して、20世紀前半のヨーロッパにおける政治状況について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 23

- ① スペイン内戦で、フランコが勝利した。
- ② ユーゴスラヴィア連邦が解体した。
- ③ イギリスで、保守党と労働党が二大政党となった。
- ④ フランスとベルギーが、ルール地方を占領した。

問 2

- (1) 絵の中のあといについて、それぞれが表している国とその君主の名の組合せとして正しいものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。なお、正しいものは複数あるが、解答は一つでよい。

24

- ① あ：ロシア — エカチェリーナ 2 世
- ② あ：イギリス — エリザベス 1 世
- ③ あ：フランス — ルイ 14 世
- ④ い：ロシア — ニコライ 2 世
- ⑤ い：プロイセン — フリードリヒ 2 世
- ⑥ い：イタリア — ヴィットーリオ = エマヌエーレ 2 世

- (2) (1)で選んだ答えについて、その国や王朝の歴史について述べているものを、次の a ～ h から三つ選択し、それらを年代順に配列したものととして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。

25

- a シュレジエンを獲得した。
- b ウィーン会議に参加した。
- c ローマ教皇領を併合した。
- d ペテルブルクを築いて、都とした。
- e テューダー朝が開かれた。
- f ユトレヒト同盟を結成した。
- g ドイツ帝国を建国した。
- h 三国協商を形成した。

- ① a → b → g ② b → a → h ③ c → a → b
- ④ d → b → h ⑤ e → f → b ⑥ f → g → h
- ⑦ g → a → d ⑧ h → e → c

世界史B

B 次の資料1・2は、中国の王朝と近隣の国家との関係に関するものである。
(引用文は原文を一部省略したり、改めたりしたところがある。)

資料1 トルコ語碑文「ビルゲ＝カガン碑文」(735年建立)

天神のごとき天から生まれた突厥のビルゲ＝カガンとして、この時、私は即位した。ウテュケン(モンゴル高原にある聖山)の山林より良いところはない。国を保つべき地はウテュケンの山林である。この地に住んで、我々は中国の民と和睦した。彼らは金・銀・酒・アを限りなく与える。中国の民の言葉は甘く、そのアは柔らかい。甘いその言葉、柔らかいそのアに欺かれて、多くの突厥の民が死んだ。その地に行くと、お前たち突厥の民よ、死ぬぞ！ ウテュケンの地に住んで、隊商を送るのであれば、お前たちにいかなる憂苦もない。

資料2 モンゴル語年代記『アルタン＝ハーン伝』

アルタン＝ハーンが中国に出発して迫り、平等に大いなる政事を話し合うために駐営すると、中国の明皇帝は、モンゴルのアルタン＝ハーンに順義王という尊い称号を奉り、大いに金銀など諸々の財物と、莫大^{ばくだい}な量のさまざまなアの衣服を与えた。アルタン＝ハーンをはじめ数多くの王侯たちは、規約を定めて中国とモンゴルの政事を協議して定めて、莫大な賞賜と交易品の望んだものを取って、引き揚げた。

問 3 資料中の空欄 **ア** に当てはまる語 a・b と、資料 1 と資料 2 から読み取れる事柄あ・いとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 **26**

ア に当てはまる語

a 綿織物

b 絹織物

読み取れる事柄

あ 中国王朝は、遊牧国家の武力を警戒する一方で、遊牧社会から物産を入手しようとしている。

い 遊牧国家は、漢人社会の経済に組み込まれることを警戒しながらも、中国王朝から物産を入手しようとしている。

① a — あ

② a — い

③ b — あ

④ b — い

問 4 資料 1 は、630 年に中国王朝に一度滅ぼされた後、復興した突厥で立てられた碑文の一部である。この中国王朝について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **27**

① 現住地で所有している土地・財産に対して課税する税制が採用された。

② 天子の力が衰え、有力な諸侯が、天子に代わって諸国を束ねた。

③ 口語に近い文体で表現する、新しい文学運動が唱えられた。

④ 人材を九等で評価して推薦する官僚登用法が採用された。

世界史B

問 5 資料2は、中国の王朝と自国との関係を、自国の優位ないし対等とする立場から述べた歴史書の記述である。これとは異なる立場に立って書かれたと考えられる資料を、次の①～④から一つ選べ。

28

① 隋に宛てた日本(倭)の国書

日出ずる^{ところ} 処の天子が、書を日没する処の天子に致す、^{つつが}恙はないか。

② 明に送った琉球国王の国書

琉球国王の^{しょうはし}尚巴志が謹んで申し上げる。我が国は、父祖が太祖皇帝(洪武帝)から暦を頂戴して臣属して以来、今に至るまで五十数年、厚い恩を受け、折にふれ朝貢している。

③ ベトナムの黎朝が出した布告

我が大越の国は文を重んじる国であり、国土は別々である上に、習俗もまた南北(ベトナムと中国)で異なっている。趙・丁・李・陳(ベトナムの諸王朝)が我が国を興して以来、漢・唐・宋・元とそれぞれ並び立つ帝国をつくってきた。

④ チベットのラサに立てられた「唐蕃会盟碑」

チベットと中国の両国は、現在支配している領域と境界を守り、その東方全ては大中国の領域、西方全てはまさしく大チベットの領域で、チベット人はチベットで安らかにし、中国人は中国で安らかにするという大いなる政事を結んで一つにした。

(下書き用紙)

世界史Bの試験問題は次に続く。

世界史B

第5問 世界史に関わる経済・統計の資料に基づく授業を想定した、次の会話文

A・Bを読み、下の問い(問1～6)に答えよ。(配点 18)

A イギリスの綿工業に関する授業

先生：今日は、産業革命をリードしたイギリスの綿工業について学びます。表1は、ワイシャツ生地の原料となる細い綿糸の価格の推移を表しています。原料綿花コストと生産コストの合計が綿糸価格です。

表1

年	1779	1784	1799	1812	1830	1860	1882
原料綿花コスト(x)	24	24	40	18	7.75	6.875	7.125
生産コスト(y)	168	107	50	12	6.75	4.625	3.375
綿糸価格($x + y$)	192	131	90	30	14.5	11.5	10.5

※単位：綿糸1ポンド(約454g)当たりペンス

先生：表1からは、綿糸価格が年とともに下落していくことが読み取れます。その理由を考えてみましょう。

生徒P：機械化によって大量生産が可能になったことが重要だと思います。

生徒Q：機械の燃料となる石炭の輸送費が下がったのも理由ではないでしょうか。

生徒R：人件費が安くなったことも影響しているはずです。

先生：なるほど。では、3人の考えはどのような事実に基づいていますか。

生徒S：例えば、表1の時期に、アが挙げられます。

先生：そうですね。

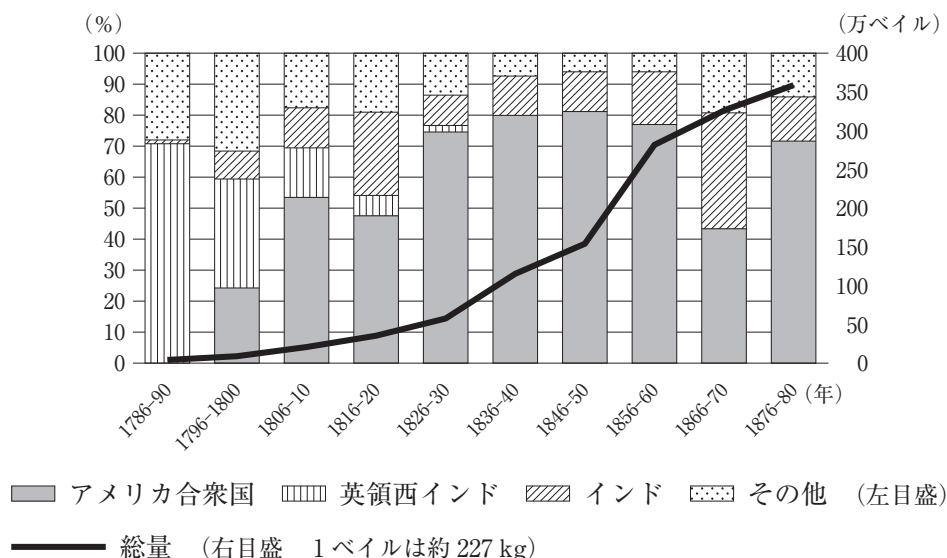
問1 生徒Sの発言中にある空欄アに入れる文として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。29

- ① 蒸気機関が、工場の動力として導入されたこと
- ② 運河や鉄道などの交通網が整備されたこと
- ③ 保護貿易によって、輸入品の価格が下がったこと
- ④ 囲い込みの進展で、都市部に人口が流入したこと

生徒T：原料綿花の供給状況も、価格の下落に関係しているのではないのでしょうか。

先生：それも理由の一つですね。では、原料綿花の供給状況について見てみましょう。グラフ1は、イギリスで消費された綿花の生産地別の比率(帯グラフ)と、消費量の総量(折れ線グラフ)とを示すものです。

グラフ1



先生：イギリスで消費される原料綿花は、18世紀末まではイギリス領西インド産の割合が多いのですが、19世紀に入ると、イ産の割合が急増し、1840年頃には4分の3以上を占めます。イ産は、ウで大量生産される低コストの綿花でしたので、その割合が急激に増加したものと考えられます。

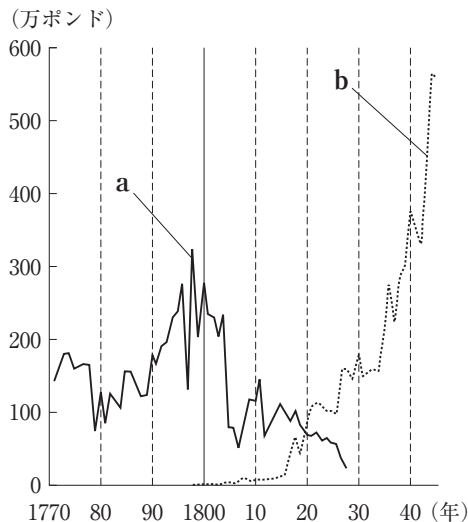
問2 先生の説明の中にある空欄イとウに入れる語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 30

- | | |
|-------------|-------------------|
| ① イーインド | ウー農奴を領主直営地で働かせる制度 |
| ② イーインド | ウー黒人奴隷を大農園で働かせる制度 |
| ③ イーアメリカ合衆国 | ウー農奴を領主直営地で働かせる制度 |
| ④ イーアメリカ合衆国 | ウー黒人奴隷を大農園で働かせる制度 |

世界史B

先生：最後に、東西間の綿布の流れを示すグラフ2と、これまでの表1やグラフ1を参考にして、イギリスの産業革命によって、当時の経済状況がどのように変化したのか、パネルにまとめてください。

グラフ2



a アジア(主にインド)から西へ輸出された綿布の総額

b イギリスから東へ輸出された綿布の総額

問3 先生の指示によって生徒たちが作った次のパネルのうち適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

31

①

1820年頃を境に、イギリス産綿布の東への輸出総額が、インド産綿布の西への輸出総額を上回りました。

②

産業革命期において、イギリスの綿糸価格が下落した最も大きな要因は、原料綿花コストが下がったことです。

③

19世紀半ばのイギリスは、アメリカ合衆国産の綿花を主な原料として綿布を生産し、インドなど東へ大量に輸出しました。

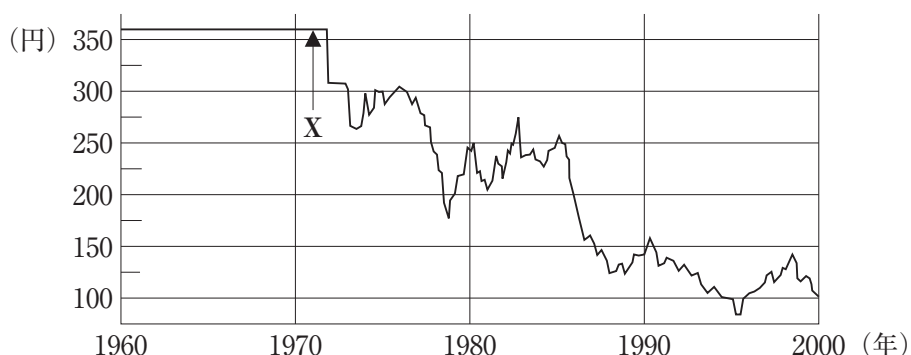
④

イギリスで産業革命が進展した時期には、イギリスからの綿布輸出と、イギリスへの原料綿花の輸入は共に増加傾向にあります。

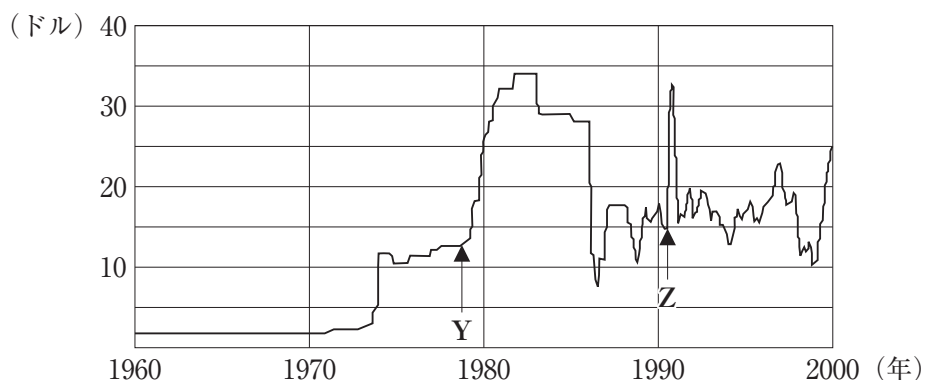
B 為替相場と原油価格に関する授業

先生：今日は、第二次世界大戦後の世界の動向を、経済資料から検証してみましょう。グラフ3・4に共通する特徴を挙げてください。

グラフ3 米ドルに対する日本円の為替相場の推移



グラフ4 国際原油価格の推移(1バレル当たり)



生徒：両方とも、1970年頃までは値がほとんど動いていません。グラフ3については、エことが原因だと思います。グラフ4については、先進国の国際石油資本が原油価格の決定権を握っていたからだと思います。

先生：その通りです。しかし、グラフ3については、①矢印Xの時期のアメリカ合衆国大統領がとった政策によって、状況が大きく変化しています。

世界史B

生徒：グラフ4でも，1970年から数年して，価格の変動が始まります。

先生：よく気がつきましたね。② グラフ4の矢印Yと矢印Zの時期の価格変動は，中東地域の革命や戦争が関係しています。

問4 生徒の発言中にある空欄

エ

 に入れる文として最も適切なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

32

- ① 世界貿易機関が，自由貿易のルールづくりを推進していた
- ② 米ドルに対する各国通貨の交換比率が固定されていた
- ③ アムステルダムが，国際金融の中心として機能していた
- ④ 大国が，植民地を囲い込む経済ブロックを形成していた

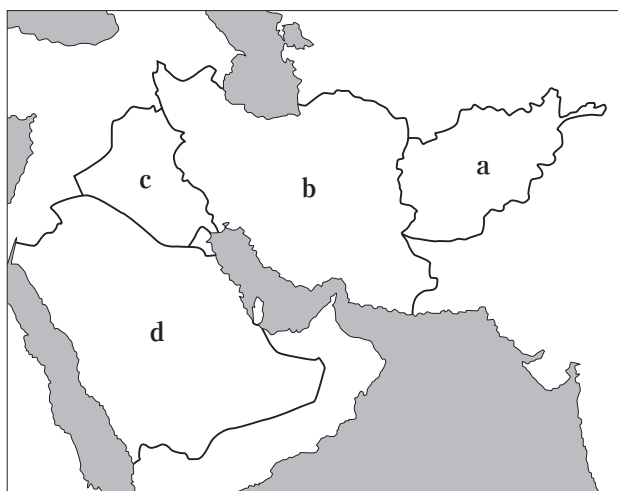
問5 下線部①の人物の外交に関する事績として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

33

- ① ヨーロッパ諸国とアメリカ大陸の相互不干渉を表明した。
- ② 国交のない中華人民共和国を訪問し，関係改善に踏み出した。
- ③ 共産主義陣営に対し，封じ込め政策を開始した。
- ④ ラテンアメリカ諸国に対し，善隣外交を展開した。

問 6 下線部②に関連して、次の文章中の空欄 **オ** と **カ** に当てはまる国について、それぞれの位置を示す地図中の a ～ d の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 **34**

Yの時期には、 **オ** で王政が倒れ、イスラーム共和国が成立した。
Zの時期には、隣国を侵略した **カ** に対し、多国籍軍が組織された。



- | | |
|------------------|------------------|
| ① オー a カー c | ② オー a カー d |
| ③ オー b カー c | ④ オー b カー d |